

三小だより 4月号



三小HPはこちらから

今年度も学校へのご協力をお願いいたします

校長 酒匂 雅夫

昨年度に引き続き、南第三小学校の校長を務めます、酒匂 雅夫(さこう まさお)です。これまで、本校が保護者の皆様と地域の皆様のご協力で築き上げてきたものを大切にしながら、さらに発展させられるよう、教育活動を進めてまいります。

本校では、4月5日に入学式を行い、25名の新入生が元気に入學してくれました。ご参りいただきましたご来賓の皆様、保護者の皆様、ありがとうございます。1年生を迎え、今日から182名の子どもたちと、三小での学校生活が始まりました。

ふるさとを愛し、未来をひらく三小っ子

これは今年度の本校の教育目標です。本校は今年度、学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールになります。コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)とは、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる、「地域とともにある学校」になるための仕組みです。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていきます。

また、大阪狭山市では、今年度より各中学校区の小・中学校が、施設分離型の小中一貫校となりました。さらに、市内全小・中学校が教育課程特例校となり、小学校1年から中学校3年までの全ての学年で、10時間の地域学習を実施します。本校も、南第一小学校と南第二小学校、そして南中学校と一緒に、9年間を通じた系統的な教育活動を進めてまいります。

このような中、今年度の教育目標を上記のように設定しました。三小の子どもたちが、自分の住んでいる地域のことを知り、地域の方と出会い、地域をよりよくするために考えて行動することで、地域への愛着を感じてほしいと願っています。また、これからの社会を生き抜くために必要な力を身に付け、自分たちの未来を自分たちの力で切りひらき、ふるさとや世界をよりよくするために活躍してほしいと思います。子どもたちに身に付けてほしい力は、学力や体力はもちろんのこと、情報活用能力や人間関係を構築する力などを含まれます。これらの力は、義務教育9年間で、発達段階に応じて体系的に取り組み、保護者の皆様と地域の皆様のご協力があるからこそ、育むことができます。そのためのコミュニティ・スクールであり、小中一貫校であり、教育課程特例校であると思います。

近い将来、社会を担っていくのは、今の子どもたちです。一人ひとりの子どものために、そして、これからの社会のために、保護者の皆様、地域の皆様、この一年間、ご協力をよろしくお願いたします。